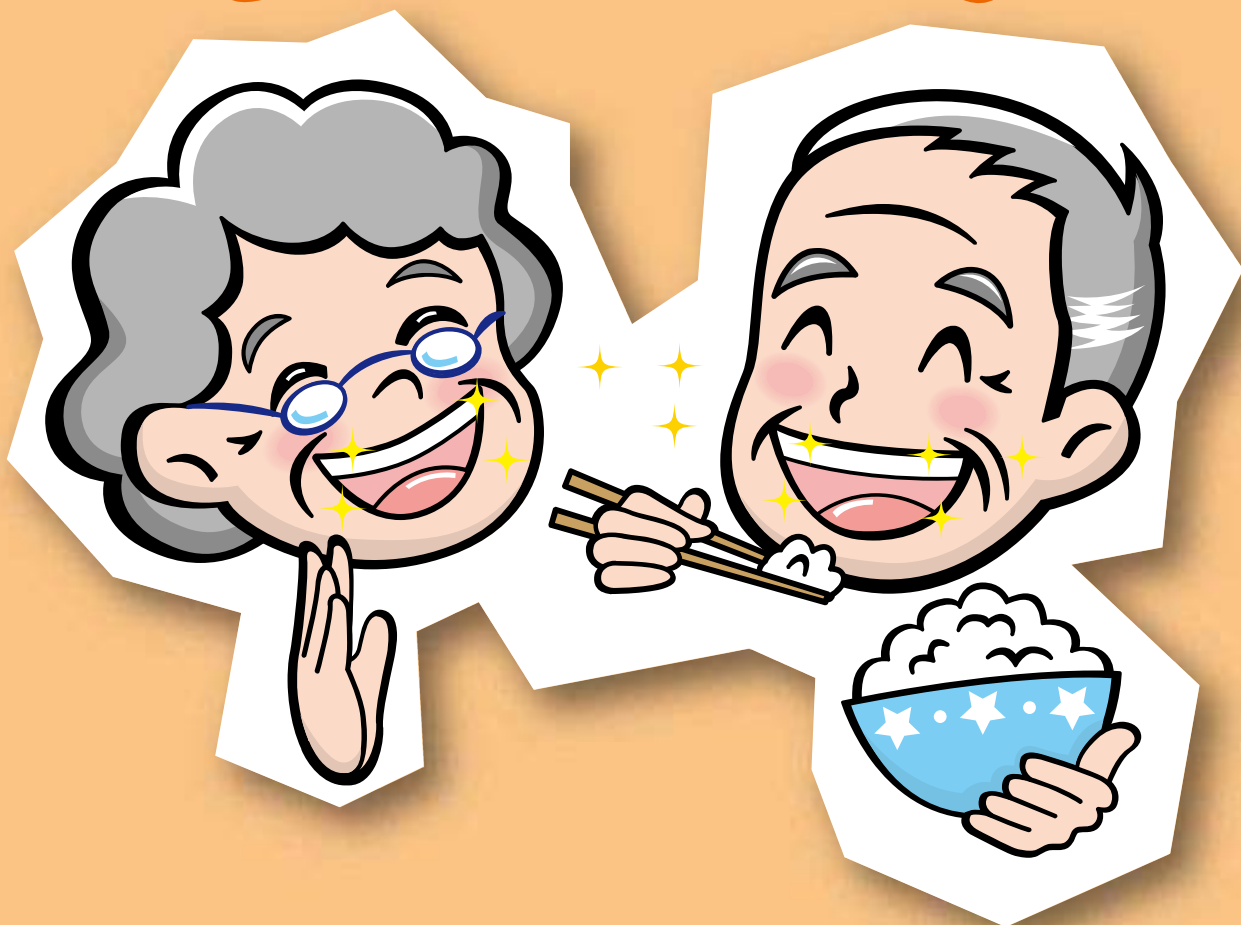


お口の健康 マニュアル

笑顔
を
まも
り
ま
せ

毎
日
の
お
口
を
ま
も
り
ま
せ



平成24年2月

鹿児島県

社団法人 鹿児島県歯科医師会

ご挨拶

我が国の高齢化の状況は、平成23年高齢者白書によると5人に1人が高齢者、9人に1人が75歳以上という「本格的な高齢社会」となっています。そのなかで鹿児島県は、全国平均より約10年先行する形で高齢化が進んでおり、高齢社会対策は重要な課題の一つとなっています。このため県では「鹿児島すこやか長寿プラン」を作成し、「地域を支えるマンパワーとしての元気高齢者」を増やすとともに、高齢者が住み慣れた地域や家庭で生きがいを持って、すこやかで安心して暮らせるよう、地域社会全体で高齢者を支える仕組みづくりに取り組んでいるところです。

歯や口腔内の健康は、食べることや会話などのコミュニケーションにかかわる重要な役割を果たしており、高齢者の生活意欲の高揚や社会参加など生活の質の向上につながっています。しかしながら、高齢期の口腔内の課題として、歯の喪失や噛む・飲み込むなどの口腔機能の低下がみられ、そのことにより、低栄養や誤嚥性肺炎等全身の健康状態の悪化につながりやすくなります。そのため、高齢者自身や高齢者を取り巻く関係者が、日頃からお口の健康に関心を持ち、効果的な口腔ケアを実施するとともに「かかりつけ歯科医」による定期的な健診・保健指導を受けていただくことが高齢期の健康づくりにおいてとても重要となります。

そこで、県では県歯科医師会、県食生活改善推進員連絡協議会、県老人クラブ連合会、県地域女性団体連絡協議会及び県内のモデル市町と連携して「高齢者口腔保健普及啓発事業」を実施し、その一環として、県歯科医師会の御協力のもと、普及啓発用資料として本マニュアルを作成しました。地域に住む高齢者の方が、いつまでもおいしく食事をとり、心身ともに健やかな生活を送れるよう、地域の歯科医師の先生方をはじめ高齢者を取り巻く関係機関・団体の方など、多くの方々に本マニュアルを御活用いただけると幸いです。

終わりに、本書の発刊にあたり、御指導、御協力いただきました関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

平成 24 年 2 月

鹿児島県保健福祉部長 西中須 浩一

ご挨拶

鹿児島県歯科医師会では、鹿児島県の地域支え合い体制づくり事業の一環として「高齢者口腔保健普及啓発事業」を委託事業として行うことになりました。

本県における高齢化率は全国的にみても高い位置にあり、平成22年度の統計によりますと26.5%（全国23.0%）と高い率となっております。今後この割合はますます上昇していく見込みです。

私達歯科医師会は、歯科医療を「食べる・話す」という生きる上での基本的な営みに直結した「生活をささえる医療」と位置づけ、さまざまな事業を展開しているところです。

その一環としてこのたび「お口の健康マニュアル」を作成する運びとなりました。高齢者がいつまでも地域の中で、コミュニケーションをはかりつつ、自分の口から美味しく食べて、健康寿命を延ばしていただくことが我々の使命と考えております。本マニュアルがその一助となることを会員一同念じつつ、ご挨拶とさせていただきます。

平成24年2月

鹿児島県歯科医師会会長 森原 久樹